

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1140		
科目名	政治学 2		
担当教員	瀧川 修吾		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	オンライン	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 【市民的素養・市民的教養】 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 DP4-I 【理解力・分析力】 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP7-C 【他者理解・倫理観・公共心】 人間の行動の正誤に関する推論に正面から取り組み、社会的な存在としての自己の行動原理を獲得することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考と公共性の把握（30%） D1 市民的教養と参加（40%） I1 理解と読解（30%）		
教員の実務経験	独立行政法人大学入試センター教科科目第一委員会委員として2015年4月より2018年3月まで勤務し、社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討しました。 第1回目		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 2 進行期～3 発展期		
科目概要・キーワード	現代の政治過程における様々な概念や事象について理解し、説明できる能力を養います。各自が本講義を通じて学びとったものを活用し、身近な問題はもちろん、現実政治がこれからも直面するであろう様々な危機に対して、多様な意見を許容しつつ、柔軟な発想で打開策をアウトプットできる市民となることを期待し、政治学の観点から多角的に考察します。授業形態は講義により行います。なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにディスタンスラーニングを取り入れる場合があります。 （キーワード）・政治学・歴史・思想・国家		
授業の趣旨	■副題 現代の政治社会の特質や諸問題と、そこで生まれた政治思想及び理論 ■授業の目的 現代の政治社会の特質や諸問題を、そこで生まれた政治思想及び理論と共に理解することで、政治社会や危機管理に関する基礎知識を習得し、①文化的素養や市民的教養を涵養するとともに、現実の社会で生起する様々な問題に関する②理解力・分析力、多様な価値観を受容する③倫理観・公共心を身につけることを目的とします。 ■授業のポイント 皆さんの多くは、これまで政治の「制度」や「機構」を暗記することを主として学んできたものと思われます。これも重要には違いないが、先例や権力に付き従い、受動的に生きていくならば、政治に関する知識はそれで十分と言えるでしょう。しかし、政治とは人類が進化の過程で獲得したコミュニケーション技術の、最大にして最高峰のものです。将来に起こりうる危機を見据え、より良い社会の在り方を模索していくには、眼前の諸問題を多角的に把握し「政治とは何か」を根本から考えてみる必要があります。そうした能力を涵養するために、概ね20世紀以降の現代社会における政治思想や制度の特質、そこで生起した様々な問題について解説します。		
総合到達目標	■現代の政治社会の特質や諸問題を、そこで生まれた代表的な政治思想と共に理解する。 ・現代の政治社会の特質や諸問題、代表的な政治思想を説明できる。（第2回～第5回） ・三権分立の基本構造と、その現代における変化や諸問題を説明できる。（第6回～第10回） ・現代の政治に特有な病理や政治とマスメディアの関係、地方自治の意義、政軍関係などにつき解説ができる。（第11回～第14回） ■政治に関する基礎的な知識と、政治について積極的・主体的に思考する能力を身につける。 ・政治学の基礎的な理論や用語について理解し説明できる。（第1回、第15回）		
成績評価方法	■発言点・リアクションペーパー 毎回（20%）：適用ルーブリック C1, D1, I1 （評価の観点）積極的かつ主体的に講義に参加し、講義内容を理解することができているかどうかを評価します。（フィードバックの方法）寄せられた意見や疑問点などについて、その場で、あるいは次回、解説をします。 ■小テスト 原則、毎回（40%）：適用ルーブリック C1, D1, I1 （評価の観点）講義内容および出題意図について理解し、自分の言葉で説明することができているかどうかを評価します。（フィードバックの方法）：テスト終了後ないし次回、解説を行います。 ■ノート 最終回に行う（20%）：適用ルーブリック C1, D1, I1 （評価の観点）講義内容を理解し、適切に記録することができているかどうかを評価します。		

	(フィードバックの方法) 極力、その場で点数を付け、改善点について口頭で指導します。 ■レポート点 各自で議題を設定し、できたところで提出(20%)：適用ルーブリック C1, D1, I1 (評価の観点) 講義内容を理解し、知識が定着しているか、それを自分の言葉で説明することができるか、レポートの形式要件を満たしているかどうかを評価します。 (フィードバックの方法) 時間的猶予があれば、添削をして返却します。	
履修条件	特にありません。	
履修上の注意点	政治学1を履修していることが望ましいです。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のテーマや内容、使用教材、スケジュール、成績評価の方法などについて説明を行います。社会科学に関する基礎的かつ広範な知識の在り方について検討した実務経験に基づき、皆さんのキャリア形成に役立つ実践的な話をします。(C1・D1・I1) ③予習(120分) シラバスに目を通し、高等学校で学んだ関連知識をノートに書き出して整理しておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、授業の目的と到達目標を確認する。
	2	①授業テーマ 資本主義と格差社会 ②授業概要 資本主義の発展は、人類にかつて無いほどの富と繁栄をもたらしたが、他方で貧困と様々な格差も生み出した。その現象は一つの国家にとどまらず、地球規模でも展開されました。帝国主義と植民地支配です。こうした資本主義がもつ克服しがたい病理と、これに加え続けられている“修正”のメカニズムについて理解を深めることを目的とし、市民的な素養・教養を養い、他者理解・倫理観・公共心を修得します。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 自分たちの身近にある“格差”について考えてくる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
	3	①授業テーマ デモクラシーの危機とファシズムの台頭 ②授業概要 政治的無関心やポピュリズムといった問題は、今日でも問題視される民主政治の宿弊と言えます。普通選挙の実現により貧しい大衆にも政治参加の道が開かれるなか、資本主義経済が破綻し世界恐慌の壁に激突すると、デモクラシーはファシズムという陥穽に直面しました。ドイツや日本を事例にして、民主主義が陥りがちな危機について理解を深めることを目的とし、市民的な素養・教養を養い、他者理解・倫理観・公共心を修得します。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 「ファシズム」と「ナチズム」の意味を辞典等で調べておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
	4	①授業テーマ 社会主義の挑戦と冷戦 ②授業概要 かつて世界は修正資本主義と社会主義とによって二分されていました。社会主義とはどのようなもので、なぜこれが現実では理論通りにならなかったのかについて考察し、冷戦と呼ばれた時代と、これが世界に残した爪痕について理解を深めることを目的とし、市民的な素養・教養を養い、他者理解・倫理観・公共心を修得します。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 「Utopia」と「New Lanark」の意味を辞典等で調べておく。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
	5	①授業テーマ デモクラシーの帝国と国家なき戦争 ②授業概要 冷戦終結後の世界は、遺憾ながら平和とはなりませんでした。現在の“国家なき戦争”と呼ばれる国際紛争の様相と、その原因について理解を深めるとともに、今後、我々はこの問題とどのように向き合って行ったら良いのかについて、皆さんと一緒に考えることで、市民的な素養・教養を養い、他者理解・倫理観・公共心を修得します。(C1・D1・I1) ③予習(120分) “テロ”はなぜ起こるのかについて考えてくる。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
	6	①授業テーマ 三権分立の基本構造と立法府①(国会) ②授業概要 国会の機能や権限、組織につき、過去の制度や世界の立法府と比較しつつ概観することで、立法府に関する基礎的な知識を修得することを目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。(C1・D1・I1) ③予習(120分) 高等学校で学んだ教科書等の当該箇所を復習した上で講義に臨む。 ④復習(120分) 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
	7	①授業テーマ 三権分立の基本構造と立法府②(選挙) ②授業概要 代表制民主主義をとる国々において選挙は、国民の代表を選出する極めて重要な制度です。選挙にまつわる諸原則や様々な制度などについて基礎的な知識を修得することを目的としつつ、可能な限り、これにまつわる脱線話にも時間を割き、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。(C1・D1・I1)

	③予習（120分） 高等学校で学んだ教科書等の当該箇所を復習した上で講義に臨む。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
8	①授業テーマ 三権分立の基本構造と司法府 ②授業概要 裁判所の機能や権限、組織につき、過去の制度や世界の司法制度と比較しつつ概観することで、司法府に関する基礎的な知識を修得することを目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 高等学校で学んだ教科書等の当該箇所を復習した上で講義に臨む。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
9	①授業テーマ 三権分立の基本構造と行政府①（内閣） ②授業概要 内閣の機能や権限、組織につき、過去の制度や世界の行政府と比較しつつ概観することで、内閣に関する基礎的な知識を修得することを目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 高等学校で学んだ教科書等の当該箇所を復習した上で講義に臨む。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
10	①授業テーマ 三権分立の基本構造と行政府②（官僚） ②授業概要 現代国家は行政国家とも呼ばれるように、行政の役割は極めて重要かつ広範囲に及びます。その担い手となる官僚とはいかなる存在なのか。ここでは、その歴史やメカニズム、問題点などについて基礎的な知識を修得する事を目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 高等学校で学んだ教科書等の当該箇所を復習した上で講義に臨む。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
11	①授業テーマ 現代政治の病理（鉄の三角同盟とフリーライダー） ②授業概要 いわゆる“政官財の癒着”と批判されるような現象はなぜ起きるのか。その基本構造について学びつつ、多面的な価値を容認せざるを得ない民主政治の難しさについて理解を深めることを目的とし、市民的な素養・教養を養い、他者理解・倫理観・公共心を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 「公益」と「特殊利益」の意味について考えてくる。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
12	①授業テーマ 政治とマスメディア ②授業概要 新聞を第四の権力（the fourth estate）と比喻したのはE.パークですが、たしかに現代の政治を論じる上で、マスメディアの存在を無視することはできません。ここではマスメディアと政治の関係について、最近の事例も踏まえて基礎的な知識を修得することを目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 国営放送・公共放送・民間放送の違いを調べてくる。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
13	①授業テーマ 政治参加と地方自治 ②授業概要 “地方自治は民主主義の最良の学校”と言われます。ここでは、地方自治の意義や中央政府と地方政府の関係などについて、最近の事例も踏まえつつ、基礎的な知識を修得することを目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） ユニークな条例につき、各自で調べておく。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
14	①授業テーマ 軍事的組織と政治 ②授業概要 それが“戦力”であるにせよ、“実力”であるにせよ、軍事的組織は、国家最大の物理的な力を占有する存在に他なりません。ここでは、危機と政治との関係を考えるに、最も重要なテーマである政軍関係について、基礎的な知識を修得することを目的とし、市民的な素養・教養を養い、理解力・分析力を修得します。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 「civilian control」の意味を辞典等で調べておく。 ④復習（120分） 授業を振り返り、学習内容を整理しておく。
15	①授業テーマ 総括，“未来”と政治学 ～進歩か循環か ②授業概要 「過去は現在の光に照らして初めて我々に理解できるものだし、過去の光に照らして初めて我々は現在をよく理解することができる」というのは、E.H.Carrの言葉です。「過去の経験からなされる一般化」は、我々の未来を明るく照ら

	すのかについて、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。（C1・D1・I1） ③予習（120分） 14回の講義を振り返り、資料やノートを整理しつつ、不明な点や新たな疑問点等をまとめたメモを持参する。 ④復習（120分）：授業全体を振り返り、ここで学んだ内容を卒業論文や志望する進路等において活用できるように整理しておく。
関連科目	「政治学1（RMGT/SSCS1139）」と関連します。
教科書	特に使用しません。原則、毎回、レジュメや資料を配付します。
参考書・参考URL	有賀弘ほか『政治 第2版 個人と統合』（東京大学出版会）、黒川貢三郎ほか『改訂 教養政治学』（南窓社）など、講義の中で適宜、紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 takigawa.shugo@nihon-u.ac.jp ■オフィスアワー 火曜日3時限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントをとって下さい。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント25%、パブリックセキュリティ25%、グローバルセキュリティ25%、情報セキュリティ25% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学30%、法学70%

